

総合情報基盤センター外部評価報告

只木進一*

1 はじめに

総合情報基盤センター（以下、「本センター」という）では、改組前（法人化前）の学術情報処理センターの頃より、毎年の自己点検評価に加えて、4年ごとに外部評価を実施することとしている。平成22年度は外部評価の年度にあたり、平成23年3月14日に外部評価を実施した。

平成22年度の外部評価委員は、以下の方々に依頼した（50音順）。

中野裕司 熊本大学総合情報基盤センター長

西村雄一郎 株式会社デジタルコミュニケーションズ佐賀代表取締役社長

稗田 隆 岡山大学情報統括センター長

前田香織 広島市立大学情報処理センター長

外部評価委員会では、本センターの活動全般についての説明に続いて、質疑応答を行い、本庄メインセンター及び医学サブセンターの見学の後、総括質疑を行った。

2 外部評価委員会概要

日時:平成23年3月14日14時半から18時

場所:学長補佐室及び医学部小会議室

進行次第

1. 開会挨拶（只木センター長）
2. 総合情報基盤センター概況説明（渡邊副センター長）
3. 質疑応答
 - セキュリティポリシー
 - 中期計画との関わり
 - 委員会等の構成
 - センター運営体制
 - メール外注
4. 本庄メインセンター見学

*総合情報基盤センター長

5. 鍋島キャンパスへ移動
6. 総合情報基盤センター-医学サブセンター概況説明 (竹生副センター長)
7. 質疑応答
 - 病院内への各種通知
8. 医学サブセンター見学
9. 講評
 - 情報リスクマネジメントの必要性
 - 業務の継続性、特に属人性の高い業務の問題
 - 研究と業務の連携の良い面と悪い面
 - 両キャンパスのシステム・業務の差によるコスト
 - メール外注への評価
 - 広報は誰をターゲットにしているか
 - 広報の役立て方
 - 目玉サービスを主張する

3 評価概要

各外部評価委員には、それぞれに評価報告書の提出をお願いし、別添のように提出をいただいた。ここでは、質疑応答を含めて、主な評価・指摘事項の概要を述べる。

1. 今回で4回目となる外部評価、毎年度実施している自己点検評価について、継続性だけでなく、これらの評価を通じて、問題点を発見し、改善に結びつけている点を評価していただいた。これらは、本センターに限らず、本学の各組織に共通する点であると考える。
同時に、自己点検評価や外部評価で改善を要する点のなかで、業務の棚卸、属人性の減少、センター業務の範囲に関する法人側との調整など、十分に改善が進んでいない点もあることを認識しておく必要がある。
2. 本センターの業務について、センター長、併任の副センター長、専任教員、技術職員、および事務職員が一体となって運営していることを評価して頂いた。教学組織と事務組織の連携が一般には難しいことも事実である。しかし、本学の場合、教学用情報システムと事務情報システムの連携が進んでいるため、教学組織と事務組織との協力に基づく運用体制でなければ運用できない。一層の連携・協力強化が必要である。
3. シングルサインオン化した利用者認証ネットワーク opengate やシンクライアント導入など、先進的情報システムの導入と運用を評価して頂いた。一方で、二つのキャンパスのシステムの整理が十分に進んでおらず、運用コスト増を招いているとの指摘もあった。
4. シングルサインオンの導入やメールの外注化など、サービス向上への継続的取組も評価いただいた。ただし、コスト面での課題の指摘もあった。

5. 本センターでは、研究と業務を連動させることで opengate 等の成果をあげ、これが本センターの大きな特色となっている。この点についても高い評価を頂いた。
6. 研究と業務の連携や、様々な特色ある取組は、それを担っている人に強く依存している。このような人に依存した取組は、一方で、その人が担当できなくなった場合に継続が困難というリスクをもっているということでもある。この点についての指摘を頂いた。
7. 情報基盤が大学の教育、研究だけでなく、組織運営や診療の基盤となるとともに、セキュリティレベルの維持が必要となっている。本学では、早い時期からセキュリティポリシーを制定しているが、実効化するためのセキュリティマネジメントシステムを有していない。ISMSの導入等を検討する必要性の指摘を頂いた。
8. 本センターにおける地域貢献として、県の審議会等を通じた情報化支援が中心となっている。それ以外の地域への技術支援の具体的内容が無いという指摘があった。今後の検討課題である。

4 まとめ

最初に、外部評価を実施していただき委員の皆様には感謝いたします。短い時間でしたが、私たち総合情報基盤センターの活動内容を理解頂き、適切な評価及び指摘を頂くことができました。資料作成や会場準備などで協力いただいたセンター及び情報企画室のみなさんにも感謝いたします。

外部評価の結果は、概ね良好であったと思います。私たちが考えている総合情報基盤センターの特徴と強みを評価して頂きました。同時に、これらの特徴と強みと表裏一体であるような属人的サービスなど、課題の指摘を頂きました。課題については、改善に向けて取組を進めていきたいと考えています。